

さいたま市立桜山中学校
桜山中だより

学校教育目標 「学べ 磨け 輝け」 校訓「自主創造」

〒339-0008 さいたま市岩槻区表慈恩寺 684-1 電話 048-794-4061



令和8年6月号

令和8年 5月29日発行

1年 22人 2年 32人 3年 32人

仲間とともに創り上げた体育祭

校長 五十嵐 紀子

初夏の日差しが日ごとに力を増し、汗ばむ季節となりました。保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。1学期が始まり、早くも2か月が過ぎようとしています。生徒たちは日々の学びや学校生活の中で、仲間とともに確かな成長を遂げています。

5月20日（水）には体育祭を実施しました。今年は「桜白対抗（縦割り）」と「学年対抗」の2本柱で競技を構成し、例年以上に工夫を凝らしたプログラムとなりました。生徒と教職員が知恵を出し合い、準備から運営まで主体的に取り組んだことで、活気に満ちた体育祭となりました。今年のスローガンは「櫻華大炎（おうかおうえん）」です。燃え上がる“炎”には仲間を“応援”する思いも込められています。真剣な表情や励ましの声、競技後の笑顔など、どの場面にもスローガンの精神が息づいていました。

生徒一人ひとりが力を出し切り、仲間と支え合う姿に、私たち教職員も胸を打たれました。ミスがあっても挽回できること、そこからどう立て直すかという学びも深いものでした。強い日差しの中でしたが、熱中症などの体調不良がほとんどなく、無事に終えられたことにも安堵しています。生徒たちが集中して取り組めたのは、保健体育の授業や全体練習、予行など、これまでの積み重ねがあったからです。入場行進から閉会式まで丁寧に準備され、計画的に取り組んできた軌跡が随所に感じられました。サクラビクスでは、動きをそろえる難しさに向き合いながら完成度を高めていく姿が印象的でした。

競技が始まると、仲間を励ます声がグラウンドに広がり、勝利の喜びも悔しさも、全力で挑んだからこそ生まれたものでした。部活動対抗リレーではユニフォーム姿の力強い走りが会場を盛り上げました。学年種目では学年らしさが表れた白熱した勝負が繰り広げられ、互いを認め合い励まし合う姿が印象的でした。クラスの思いが一つになり、全校生徒と観客が一体となって、体育祭の締めくくりにあふさわしい感動的な時間をつくり上げてくれました。

体育祭を通して、生徒たちは「すべての子どもに届く学び」や「未来へ踏み出す力を育む」という本年度の重点目標に関わる多くの価値を実感できたと思います。努力を積み重ねる大切さ、協力して創り上げる喜び、仲間の存在のありがたさなど、これらの経験は今後の学びや生活を支える力となるはずです。

こうした充実した一日を支えてくださったのが、早朝から会場整備や運営補助に携わってくださったサポートチームの皆様、そして保護者・地域の皆様の温かいご声援です。岩槻さくら保育園の園児たちが元気いっぱい声援を送ってくれたことも、生徒たちの大きな励みとなりました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

最後に、6月はさいたま市内すべての学校で「いじめ撲滅強化月間」として、いじめのない学校づくりに重点的に取り組みます。本校でも学級での話し合いや生徒会朝礼、啓発ポスターの作成など、全校で取組を進めてまいります。ご家庭でも話題にいただければ幸いです。地域の皆様におかれましても、気になることがございましたら学校までご連絡ください。皆様と力を合わせ、子どもたちが安心して過ごせる学校づくりを進めてまいります。引き続き、保護者・地域の皆様のお力添えを心よりお願い申し上げます。

